

ATBK-100 アンテナベースキット

⚠ 組立・取り付けおよび使用上のご注意 ⚠

- ◎ HF 帯で運用する際は、アースが確実にとれるよう、必ず金属製の手すりなどに取り付けてください。
- ◎ エレメントやアンテナ基台の取り付け部分が緩んでいないか、定期的に確認してください。
- ◎ 設置場所や周囲の状況によっては、十分に SWR が下がらない場合があります。
- ◎ 送信中はアンテナやラジアルには触らないようにしてください。
- ◎ 台風や強風時には、安全のために取り外してください。
- ◎ アンテナの近くに、洗濯物などの可燃物を近づけないように注意してください。
- ◎ 取り付け作業の際、ネジや部品、工具類を落下させないように注意してください。
- ◎ テレビアンテナや、他のアンテナの付近には、取り付けないようにしてください。

電波の強度に対する安全施設規定

平成 10 年 10 月 1 日付け郵政省告示第 718 号により、電波法施行規則の一部が改正されましたので、アンテナを取り付ける際には、施行規則に従って設置してください（平成 11 年 10 月 1 日より施行）。

電波法施工規則第二十一条の三 無線設備から発射される電波の強度が定められた値を超える場合（人が通常、集合し、通行し、その他出入りする場所に限る。）については、その無線設備取扱者以外の者が容易に出入りできないように施設をしなければならない。

付属品

アンテナホルダー	1
50MHz 帯用エレメント	2
144MHz 帯用エレメント	1
430MHz 帯用エレメント	1
六角レンチ	1
スパナ	1

注意

- ATBK-100 は、アクティブチューニング・アンテナシステム“ATAS-100/-120”専用です。“ATAS-100/-120”以外のアンテナでは使用することができません。
- ATBK-100 は、アパート・マンションなどのベランダでの使用を前提に開発されています。自動車などには取り付けないでください
- HF 帯で運用する際は、手すりがラジアルの代わりになりますので、アースが確実にとれるよう、必ず金属製の手すりなどに取り付けてください。
- 手すりが塗装されている場合、取付箇所の塗装を剥がしてから取り付けることにより、導通が良好になり、良好な結果を得ることができます。なお、塗装を剥がした所の防錆対策は、忘れずに行ってください。また、塗装を剥がす場合は、お客様の責任に於いて行うようにしてください。
- アンテナに接続するM型コネクタおよび同軸ケーブルは、必ず 50 Ω に整合された物を使用してください。
- 使用中に“SWR が異常に高くなった”“煙が出た”などの異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。

取付方法

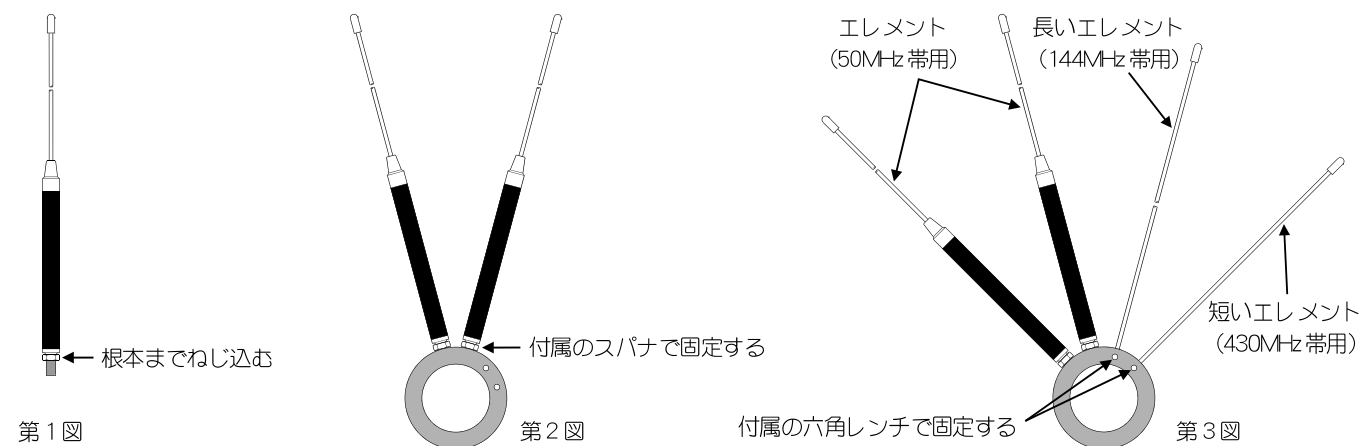
1. 第 1 図を参考に、エレメントの根本までナットをねじ込みます（計 2 本）。
2. 第 2 図を参考に、アンテナホルダーにエレメントをねじ込み、付属のスパナで固定します。
3. 第 3 図を参考に、長いエレメント（144MHz 帯用）と、短いエレメント（430MHz 帯用）をアンテナホルダーに差し込み、付属の六角レンチで固定します。
4. アンテナ基台を、金属製の手すりなどに取り付けます。（アンテナ基台の一例：第一電波工業株式会社（DIAMOND）製の BK-10）
5. 第 4 図を参考に、アンテナ基台に ATAS-100/-120 とアンテナホルダーを取り付けます。

注意 エレメントを固定したネジ穴（第 3 図参照）を下にして取り付けてください。

6. 第 5 図を参考に、ラジアルの向きを、手すりやその他の障害物から離れるように調整し、付属の六角レンチで固定します。
7. 以上で取付は終了です。ATBK-100 は調整の必要はありませんが、ご使用の無線機および、ATAS-100/-120 の取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

SWR が下がらない場合

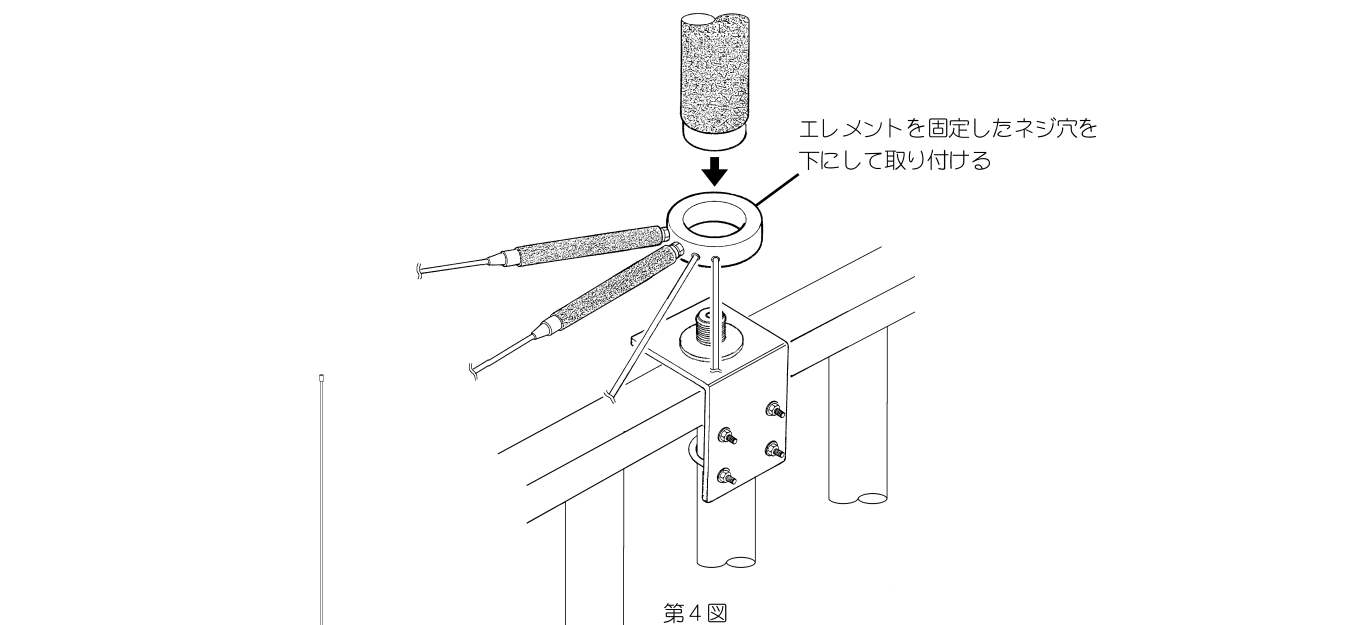
- 周囲に別のアンテナや金属類などの障害物があると、それらの影響を受けて、SWR が下がらない場合があります。
- 手すりなどから、アンテナ給電点までの距離が長い場合、SWR が下がらない場合があります。
- “アンテナ” ↔ “基台” ↔ “手すり” 間の導通を確認してください。



第 1 図

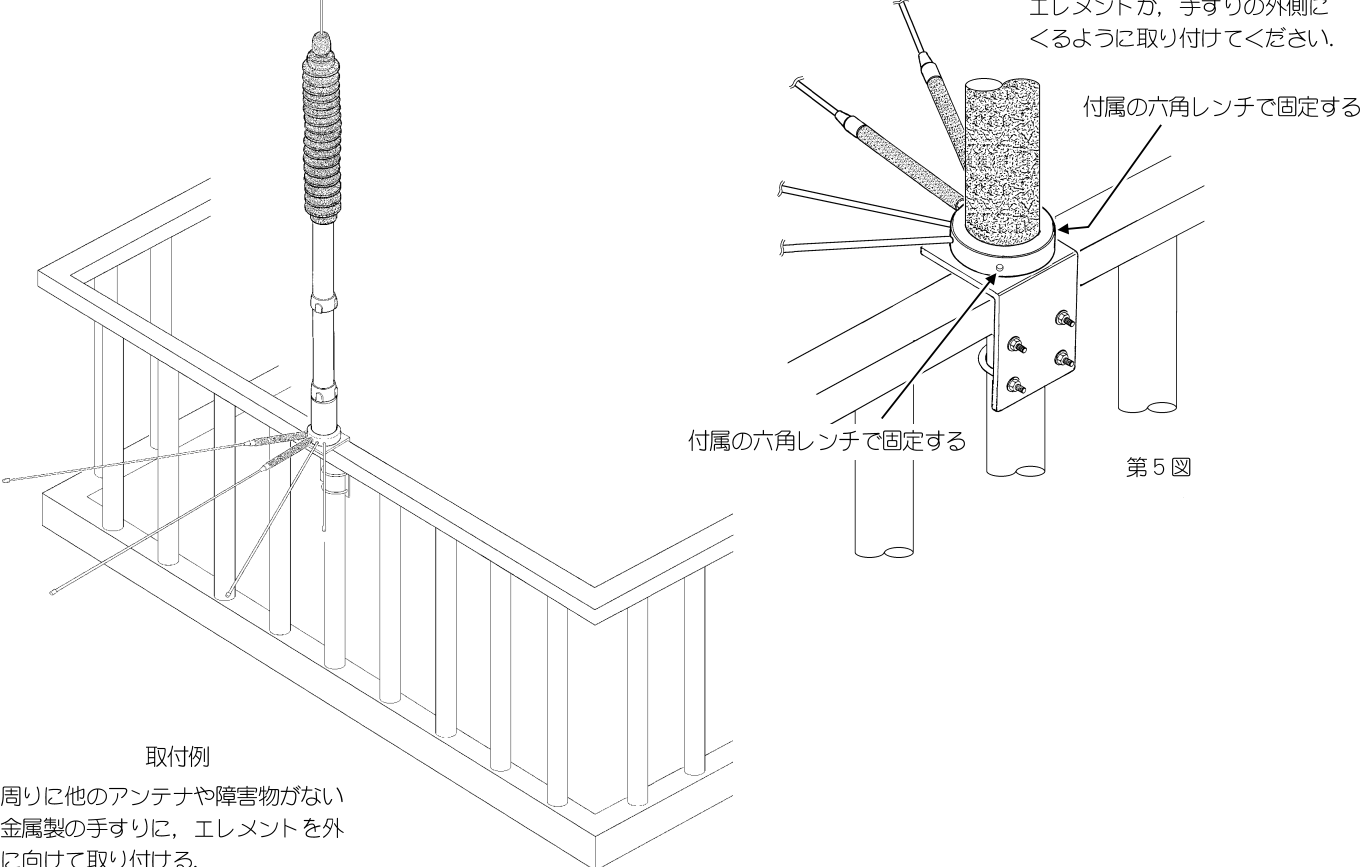
第 2 図

第 3 図



第 4 図

第 5 図



取付例

周りに他のアンテナや障害物がない金属製の手すりに、エレメントを外に向けて取り付け。